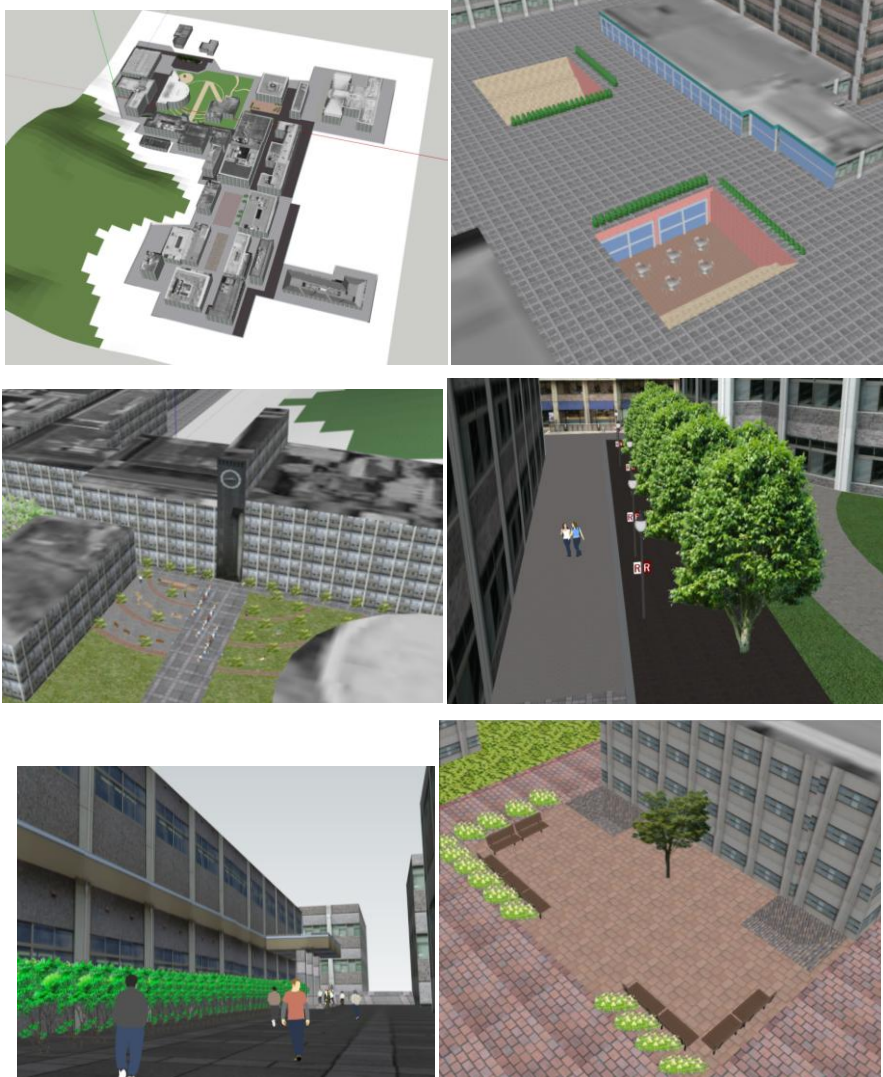


第 13 回 最終課題の内容と作成準備

今日の内容

1. 衣笠キャンパスの 3D モデルの紹介
2. 最終課題の内容について
3. 最終課題

衣笠キャンパスの 3D モデルの紹介



最終課題の内容について

提出作品の条件

- 中心となるモデルを1つ作る
- 中心となるモデルには、ダウンロードしてきたコンポーネントを使わない
- 背景となるモデルを作る（個数は無制限）
 - 例1）中心となるモデルが「建物」の場合、背景は「周辺の建物」などとなる
 - 例2）中心となるモデルが「人物」の場合、背景は「部屋」や「建物」などとなる
- 背景となるモデルには、ダウンロードしてきたコンポーネントを使用してもよい
- テクスチャ画像を最低1ファイル作成し、いずれかのモデルにマテリアルとして設定する
- アニメーション機能 (SketchUp・mover のどちらでも可) あるいは Podium を使って、最低1ファイルの動画あるいはライティングを施した画像を作成する

提出作品に関するプレゼン（7月18日）

作品全体（動画・画像を使いながら）および作成時に特にこだわった部分に関して、PowerPoint でスライドを作成し、7月18日の授業中にプレゼンをする（1人3分）。PowerPoint の簡単な使い方については、来週の授業で紹介する。

作品およびレポート等の提出（7月31日午後11時まで）

教材フォルダの「最終課題」フォルダに、各自の氏名のフォルダを作成し、以下のファイルを提出する。

- 作品の SketchUp のファイル
 - 7月18日のプレゼンで使用した PowerPoint のファイル
 - アニメーションの動画（.avi）ファイルあるいはライティング結果の画像（.png）ファイル
 - 作成したテクスチャ画像のファイル
 - レポートの Word ファイル
1. 作品の説明、元にした資料、こだわった点、苦労した点、授業の感想などについて、最低1,200字（図表を含めても構わないが、図表は文字数には含まない）
 2. レポートの冒頭には、必ず学生証番号・専攻・名前を記入する

※いずれのファイルについても、ファイル名は、自分の氏名を含んだものに設定すること。

提出期限：7月31日(日) 午後11時まで

自宅からの教材フォルダへのアクセス方法については別紙参照

最終課題の内容を考える

構図・平面図を描く

作品の内容を考え、その構図および平面図を配布した紙に、鉛筆、シャーペン等で描く。

- 描き方のポイント
 - 中心となるモデルをまず考え、構図の中央付近に描く
 - 遠近法を考慮しながら（遠いほど小さい）、背景となるモデルを構図上に配置する
 - 構図がだいたいできれば、構図をもとに、中心となるモデルから平面図に描く
 - 細部までこだわる必要はなく、全体的にラフな感じで仕上げる

資料収集の方法

- 文献・写真
図書館、修学館、人文系文献資料室
- 地図
最新の地図は図書館にある（Webでも利用可。下記参照）
古い地図が必要な場合、清心館2階のマップライブラリを利用する
※地理学専攻の施設なので、利用したい場合は申し出ること。利用の際は、入口の台帳に氏名、学生証番号等を記入してから、必ず実習助手に声をかけ、許可を得てから利用する。貴重な資料が多いので、コピーなどをする際は、丁寧に扱う。

Webの利用

- 文献・写真
Google ブックス (<http://books.google.co.jp/>)
慶應義塾図書館所蔵の近代の一部の蔵書について、全文が閲覧可能。慶應以外のものも一部閲覧できる。
国立国会図書館近代デジタルライブラリー (<http://kindai.ndl.go.jp/>)
明治・大正期の国立国会図書館蔵書の一部が閲覧可能
- 地図
ウォッチーズ (<http://watchizu.gsi.go.jp/>)
国土地理院の地形図、国土基本図
Google マップ (<http://maps.google.co.jp/>)・Yahoo! ロコ (<http://maps.loco.yahoo.co.jp/>)
住宅地図、空中写真
- 絵画・工芸品など
アート・リサーチセンターのデジタルアーカイブ (<http://www.arc.ritsumei.ac.jp/>)
浮世絵、京都名所図、陶磁器、漆器、竹工芸等のデータベースの閲覧が可能
- その他のオンライン資源
Google 画像検索 (<http://www.google.co.jp/imghp?hl=ja>)

氏名		専攻	
構図			
平面図			